

平成29年度 兵庫県立山崎高等学校 学校評価報告書

学校教育目標

「学びたい・学ばせたい」魅力ある学校づくり
校訓「希望・英知・敬愛」のもと、社会の変化に対応でき、たくましく生きていく人間を育てる。

教育方針

(1) 一人一人の可能性を伸ばし、こころ豊かで自立した、未来を担う人材を育てる。
(2) ふるさとを愛し、地域の人々と支え合い協力して、兵庫の発展に貢献できる人材を育てる。
(3) 伝統と文化を尊重するとともに、異なる価値観を理解し、国際社会に貢献する力を培う。

重点目標

学校・家庭・地域が一体となって生徒の「生きる力」を育み地域に愛され地域が誇れるリーダーを育成する。
(1) 主体的に学習に取り組む態度を育成し、進路目標に応じた発展的な学習により、学力向上を図る。
(2) 互いを尊重する思いやりの精神とともに、自他の命や人権を大切に心の教育を推進する。
(3) キャリア教育を通して、学ぶ意義や将来の目標を見出し、キャリアプランニング能力を育成するとともに、自立した社会人として将来に必要な能力を培う。
(4) 体験教育の推進により、ふるさと意識の醸成と、地域との関わりを通じた絆づくりを図り、社会の一員としての自覚を深める。
(5) グローバル化に対応した教育の推進により、語学力やコミュニケーション能力、主体性や創造性、チャレンジ精神を持って行動する能力や態度を育成する。
(6) 災害から得た教訓を生かし、助け合いやボランティア精神等「共生の心」を育み、「兵庫の防災教育」を推進する。

平成29年度学校評価		H29平均	評価	各科の分析、改善の方策	学校評議員の意見	
学校運営	開かれた学校づくり	各種の通信や学校ホームページ、オープンハイスクール等により生徒・保護者・地域に情報を発信している。	2.98	A	HPの閲覧しやすさを改善することが大前提である。 掲載内容については、生徒・保護者・地域が求める情報を提供できるように記事・写真の内容の検討を行う。 また、掲載情報の即時性を高めていく方策を模索する。 明るく挨拶ができるようになってきているという評価はいただくことが多くなった。 登下校のマナーについては、外部からの指摘を受けることも多く、対応に苦慮しているが、学期毎に全職員による一斉交通指導を実施し、交通マナーの向上に努めている。 いじめへの取り組みについては、今年度よりこの評価表に明記することとなった。学期に1回毎に全生徒にアンケートを実施し、挙げてきた事業に対して即日対応することとしている。実際にアンケートから発見し、解決につながったケースもあり、機能しつつある。 個人面談や家庭への連絡については、こまめに実施するよう心がけているが、浸透していないところがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当である。 ・HPの閲覧は、スマートフォンが中心となっているようなので、それに対応できるよう改善したほうがよい。
		学校評議員の意見、保護者や地域の声を学校改善に生かしている。	2.85	B		
	校内連携	各学校行事の反省を整理し、課題を共有して工夫・改善に取り組んでいる。	2.79	B		
	生徒指導	教職員が生徒指導の方針・目標を理解し、組織的な生徒指導を展開している。	2.76	B		
		個人面談を実施したり、家庭との連携を密にしたりすることで、生徒の内面理解に基づく生徒指導を実践している。	2.84	B		
		ホームルーム活動や生徒会活動を活性化することで、生徒相互の良好な人間関係を築いている。	2.87	B		
	進路指導	本校いじめ防止基本方針に基づき、いじめに対して組織的に取り組み、未然防止や早期発見を図っている。	2.94	A		
		進路指導部と学年・教科が連携し、進路実現に向けて計画的・組織的な指導を展開している。	2.66	B		
		就職・進学に関するガイダンスを充実し、進路意識や進路実現への意欲を高めている。	2.88	B		
	教員の資質向上	企業見学・インターンシップやオープンキャンパスにより進路動機や勤労観・職業観を醸成している。	2.98	A		
研究授業や授業公開、生徒による授業評価を実施して教員指導力の向上に努めている。		2.52	C			
教育課程	主体的に研修会に参加するなど、課題意識をもって自己研鑽に努めている。	2.74	B			
	習いご指に導学	生徒の興味・関心・進路目標に配慮した選択科目や類型を設定し、各科の特色化を図っている。	2.89	B		
	意識の喚起	授業を工夫し、基礎・基本の定着と学習意欲の伸長を図っている。	2.76	B		
課題教育	体系的・問題解決的な学習の展開を通して、自ら考え、判断し、行動する力を育成している。	2.72	B			
	課外活動	部活動の充実を通して、技能の向上とともに健やかな体・豊かな心の育成に努めている。	2.98	A		
	防災安全	防災・安全教育を充実し、職員・生徒の危機意識を高め危機管理の実践力・組織力を高めている。	3.02	A		
	情報教育	個人情報取り扱いや情報発信が社会に与える影響を理解し、情報モラルに関する意識を高めている。	2.86	B		
	人権教育	各教育活動を通して、互いの人権や命を大切にする心と態度を育てている。	2.88	B		
体験活動	ボランティア等の体験活動を充実して、自己有用感や豊かな人間性・社会性を育てている。	2.86	B			

※ 「H29平均」の項目は、生徒・保護者・職員によるアンケート（1＝そう思わない、2＝あまり思わない、3＝どちらかと言えばそう思う、4＝そう思う）の平均値です。保護者の皆様から記述していただいたご意見は、教職員間で情報共有しており、平成30年度にはその改善に努めます。